

リスク関連事項

パートナーズ・グループ・ジャパン株式会社

ファンドへの投資はどれも投機的であり、重大なリスクを伴います。これは全投資金額の損失や透明性の欠如といったリスクを含みます。ファンドへの投資を判断される前に、目論見書に記載されているリスク要因を十分ご理解下さい。ファンドへの投資を検討している投資家は、それ相当の財務能力を有しており、ファンドが行うファンド投資に内在するリスクについても十分に理解、承認する必要があります。

ファンドへの投資には以下のリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

運用実績の欠如、経済・政治及び法的リスク、為替変動リスク、ファンドが行う借入れによるレバレッジ・リスク、監査及び財務報告に誤りのあるリスク、分散効果の欠如、運用管理上のリスク、金融市場の変動リスク、流動性の低い案件への投資のリスク、メザニン投資及び不動産のリスク、ヘッジ・リスク、ジェネラル・パートナーによる相対評価に基づくウエイト調整から生じるリスク。

ファンドの投資家の一人が投資を継続出来なくなった場合、ファンドが1件あるいはそれ以上の投資案件への投資を行うことが出来なくなり、それゆえデフォルトとみなされる可能性があります。このような場合には、ファンド及びファンドに投資を行う全ての投資家(デフォルトしていない投資家も含む)は、運用成果に多大な影響を及ぼす罰則等の対象となる可能性があります。

ファンドへの投資を行っても、ファンドの投資先の投資主の権利(議決権含む)を付与されるものではありません。ファンドの行う投資先あるいはそれに関わる団体等が、ジェネラル・パートナーあるいはその関係会社と事業上の取引関係にある場合があります。

投資家は、ファンドが行う投資に関する諸条件を、事前に評価を行うことはできません。パートナーズ・グループは、ファンドの組成及び運用を行う上で、ファンドが投資を行っている、基礎となるファンドやポートフォリオ・カンパニーに係る非公開情報を知り得ているか、または将来的に知り得る可能性があります。かかるファンドの持つ特殊性により、ファンドへの投資が、一部の投資家においては最適ではない場合があります。いずれの場合においても、ファンドへの投資は投資家のポートフォリオの一部のみを構成するもので、ポートフォリオ全体をファンドへの投資とすべきではありません。

過去のパフォーマンスは将来のそれを保証するものではありません。ファンドがターゲットとするリターンを獲得する保証もありません。本資料内の情報には、将来の見通しに関する記載が含まれていますが、リスクや不確定要素により、ファンドの運用成果や実際のパフォーマンスが、記載されている将来の見通しと大きく異なる場合があります。それゆえ、本資料記載の将来の見通しに関する記載を基に、最終的な投資判断がなされるべきではありません。